



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月8日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL http://www.owill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口 英器
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理副本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	21,991	0.3	230	△7.5	239	△7.7	137	8.7
27年3月期第3四半期	21,925	5.4	249	0.6	259	△7.0	126	△19.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 181百万円 (△12.2%) 27年3月期第3四半期 206百万円 (18.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	43.60	—
27年3月期第3四半期	40.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	9,682	2,006	19.3	594.09
27年3月期	7,333	1,919	24.8	577.24

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,871百万円 27年3月期 1,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0 0	—	30 0	30 0
28年3月期	—	0 0	—		
28年3月期(予想)				30 0	30 0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	1.2	248	0.8	256	△0.7	154	26.3	48.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成28年2月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規__社（社名）、除外__社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	3,150,000株	27年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	211株	27年3月期	211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	3,149,811株	27年3月期3Q	3,149,811株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の財政・金融政策を背景に緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとした海外の経済成長の減速による景気の下振れ懸念リスクがあることから依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、平成27年10月にT P P交渉が大筋合意に達したことにより、取り巻く経営環境は大きく変化するとみられているものの、消費者の節約志向は引き続き高く、国内市場の縮小化による同業他社及び他業態との競争激化や円安等による食品原材料の高騰など、企業収益は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な原材料・資材の供給体制を維持・強化し、サービスの質の向上に努めるとともに、取扱品目の増加及び取引先の拡大に努めてまいりました。乳及び乳製品や糖類などの食品副原料の販売数量が減少したものの、茶葉類をはじめとする農産物及び同加工品が好調に推移いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,991,410千円（前年同期比0.3%増）、営業利益は230,634千円（前年同期比7.5%減）、経常利益は239,751千円（前年同期比7.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は137,320千円（前年同期比8.7%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、夏場の悪天候はあったものの10月以降は好天に恵まれたこともあり、前年比増で推移いたしました。しかしながら、小売優位の情勢や原材料高騰を受け、継続的な売上規模と利益確保の両立が難しい局面を迎えており、自販機を巡る業界再編もみられるなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、取引先の拡大と利益率改善を図ってまいりました。糖類等の食品原材料や殺菌乳の販売が低調に推移したものの、ウーロン茶等の茶葉類、濾過助剤をはじめとする資材や環境浄化システム等の販売が好調に推移いたしました。一方、暖冬の影響を受け、米国内での業務用ヒーターの販売が苦戦を強いられたことから、売上高は21,176,924千円（前年同期比0.2%減）となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。既存取引先への販売数量が低迷したものの、当連結会計年度より開始した菓子メーカー向けのP B商品が好調に推移し、売上高は451,833千円（前年同期比10.2%増）となりました。

<その他>

その他においては、コンビニエンス事業を大手町地区で展開しておりますが、集客数が増加したことや店舗運営の基本であるSQC（サービス、クオリティ、クリンネス）のレベルアップに注力し、店舗運営の効率化に努めたことから収益が伸長し、売上高は800,545千円（前年同期比10.4%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,301,475千円増加し、8,455,461千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、未収入金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ47,808千円増加し、1,227,273千円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,349,283千円増加し、9,682,735千円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,383,180千円増加し、6,636,242千円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ120,879千円減少し、1,039,821千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2,262,301千円増加し、7,676,063千円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ86,981千円増加し、2,006,671千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業である卸売事業は、飲料事業会社の業績が伸び悩む中、取扱品目の増加や取引先の拡大に努め、堅調に推移しております。しかしながら、エルニーニョ現象等による暖冬の影響を受け、米国子会社において、業務用ヒーターの販売が低迷いたしました。寒さが本格化した現在、積極的な販売活動を行っておりますが、当期中での収益改善は難しい状況となっております。これらの要因により通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成28年2月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,331,879	1,999,212
受取手形及び売掛金	3,185,055	4,716,368
商品及び製品	1,039,638	1,232,833
未着商品	308,983	98,162
原材料及び貯蔵品	26,066	19,164
未収入金	103,698	323,156
繰延税金資産	21,768	26,276
その他	141,294	45,785
貸倒引当金	△4,400	△5,500
流動資産合計	6,153,986	8,455,461
固定資産		
有形固定資産	414,928	423,966
無形固定資産	94,024	77,896
投資その他の資産	670,512	725,410
固定資産合計	1,179,465	1,227,273
資産合計	7,333,451	9,682,735
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,272,872	5,537,282
1年内返済予定の長期借入金	517,477	574,492
未払金	262,826	352,008
未払法人税等	7,465	50,289
賞与引当金	32,560	24,000
その他	159,858	98,169
流動負債合計	4,253,061	6,636,242
固定負債		
長期借入金	1,074,789	908,504
資産除去債務	6,044	6,120
その他	79,866	125,197
固定負債合計	1,160,700	1,039,821
負債合計	5,413,762	7,676,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	288,387	288,387
利益剰余金	1,036,541	1,057,527
自己株式	△129	△129
株主資本合計	1,688,186	1,709,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,506	121,666
繰延ヘッジ損益	2,991	△1,385
為替換算調整勘定	41,488	41,813
その他の包括利益累計額合計	129,986	162,094
非支配株主持分	101,516	135,403
純資産合計	1,919,689	2,006,671
負債純資産合計	7,333,451	9,682,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	21,925,355	21,991,410
売上原価	20,013,612	20,059,122
売上総利益	1,911,742	1,932,287
販売費及び一般管理費	1,662,422	1,701,653
営業利益	249,320	230,634
営業外収益		
受取配当金	5,052	5,468
為替差益	13,412	4,481
受取手数料	4,833	4,833
受取補償金	1,380	1,865
その他	1,484	2,109
営業外収益合計	26,162	18,758
営業外費用		
支払利息	10,195	8,183
支払補償費	4,550	1,021
その他	993	437
営業外費用合計	15,739	9,641
経常利益	259,743	239,751
税金等調整前四半期純利益	259,743	239,751
法人税、住民税及び事業税	95,216	92,833
法人税等調整額	10,489	△2,339
法人税等合計	105,706	90,494
四半期純利益	154,037	149,257
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,755	11,936
親会社株主に帰属する四半期純利益	126,281	137,320

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	154,037	149,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,426	36,160
繰延ヘッジ損益	3,496	△4,376
為替換算調整勘定	38,781	435
その他の包括利益合計	52,705	32,218
四半期包括利益	206,742	181,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,120	169,428
非支配株主に係る四半期包括利益	42,622	12,046

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,045,011	155,099	21,200,110	725,244	21,925,355	—	21,925,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	167,673	254,786	422,460	—	422,460	△422,460	—
計	21,212,685	409,886	21,622,571	725,244	22,347,815	△422,460	21,925,355
セグメント利益又は 損失(△)	247,180	1,855	249,035	△5,857	243,178	6,141	249,320

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額6,141千円は、セグメント間取引消去6,141千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,047,114	143,749	21,190,864	800,545	21,991,410	—	21,991,410
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129,809	308,083	437,893	—	437,893	△437,893	—
計	21,176,924	451,833	21,628,757	800,545	22,429,303	△437,893	21,991,410
セグメント利益	205,913	5,910	211,824	14,935	226,760	3,873	230,634

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額3,873千円は、セグメント間取引消去3,873千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。